

上島町長職務執行者 佐伯 眞登氏 退任に当たり

平成16年10月1日より上島町長職務執行者として勤められた佐伯眞登氏が、11月8日に退任されました。

そこで、佐伯眞登氏に退任に当たったのインタビューをしましたのでご紹介します。

■上島町長職務執行者として勤められて、印象に残ったことは。

10月20日、台風23号の接近により、急遽出張予定を繰り上げての帰途、姫路駅で新幹線が12時間もストップしました。

地元の災害状況に気を揉みながらの長くて辛い時間でした。

未曾有の大被害を受けた道路・漁港施設等の一日も早い復旧を願っています。

■今後、上島町の発展をどう望みますか。

上島町は、離島同士の合併ですので、行財政の効率化もままなりません。また、人口規模からも厳しい財政運営が予測されます。

この局面を乗り切るためには、優

れた首長の「指導力」と、自らまちづくりに参加する「住民力」、時代を先取りし行動する「職員力」が三位一体となり、知恵をしぼり、汗と力を出し合うことが必要ですが、上島町にはそれがあります。

互譲・協力・節儉をキーワードに、各地域のよさと特色を生かしながら、上島町全体の魅力アップと発展を図るべく、みんなで頑張りましょう。

■最後に、町民の皆さんに一言お願いします。

「まちづくり」も自己責任の時代です。

住民一人ひとりが行政に参加し、それぞれの立場で出来ることから実行するという姿勢が、地域の自立と一体感の確立につながります。

「合併してよかった」と実感できる日の早からんことを心から願っています。



佐伯 眞登氏退任

【11月8日】



佐伯眞登上島町長職務執行者退任式



佐伯氏から上村新町長への事務引継ぎ



佐伯氏見送り

上島町発足直後ということもあり、大変お忙しい1ヶ月余りだったと思います。大変ご苦労様でした。

これからも上島町の発展のために、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

ありがとうございました。